

## 令和6年度 第2回 原子力災害医療 中核人材技能維持研修（量研） 募集要項

本研修は、令和6年度原子力災害対策事業費補助金（原子力災害等医療実効性確保事業）（以下、「補助金事業」という。）の一環として、量子科学技術研究開発機構（以下、「量研」という。）が対面形式で開催する「原子力災害医療中核人材技能維持研修（量研）」です。本研修は、受講の負担を軽減しながらも、原子力災害医療中核人材研修（以下、「中核人材研修」という。）で習得した知識や技能を適切に維持するために、今年度から各高度被ばく医療支援センターで開催することになった新設研修です（今年度の開催予定は最終ページを参照）。

令和3年度に原子力災害医療に関する研修は新たに体系化され、基礎→専門→高度専門へとステップアップ方式で行われることとなりました（図1）。また、被ばく医療は非常に稀な事象であり、日々の業務で実践する機会が少ないことから、知識や技能を再確認、再取得することが望ましいと考えられています。そのため、原子力災害医療研修修了者には認定期間があります。修了証の有効期限は修了日の3年後の年度末となっており、中核人材研修の認定期間更新には、期限内に本研修を受講もしくは中核人材研修を再受講することが必要となります（図2）。

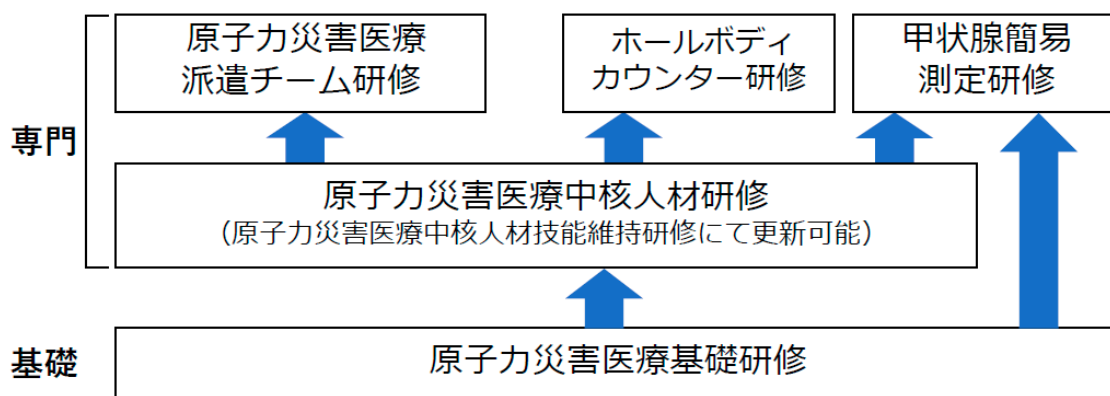


図1. 原子力災害医療研修のステップアップ体系

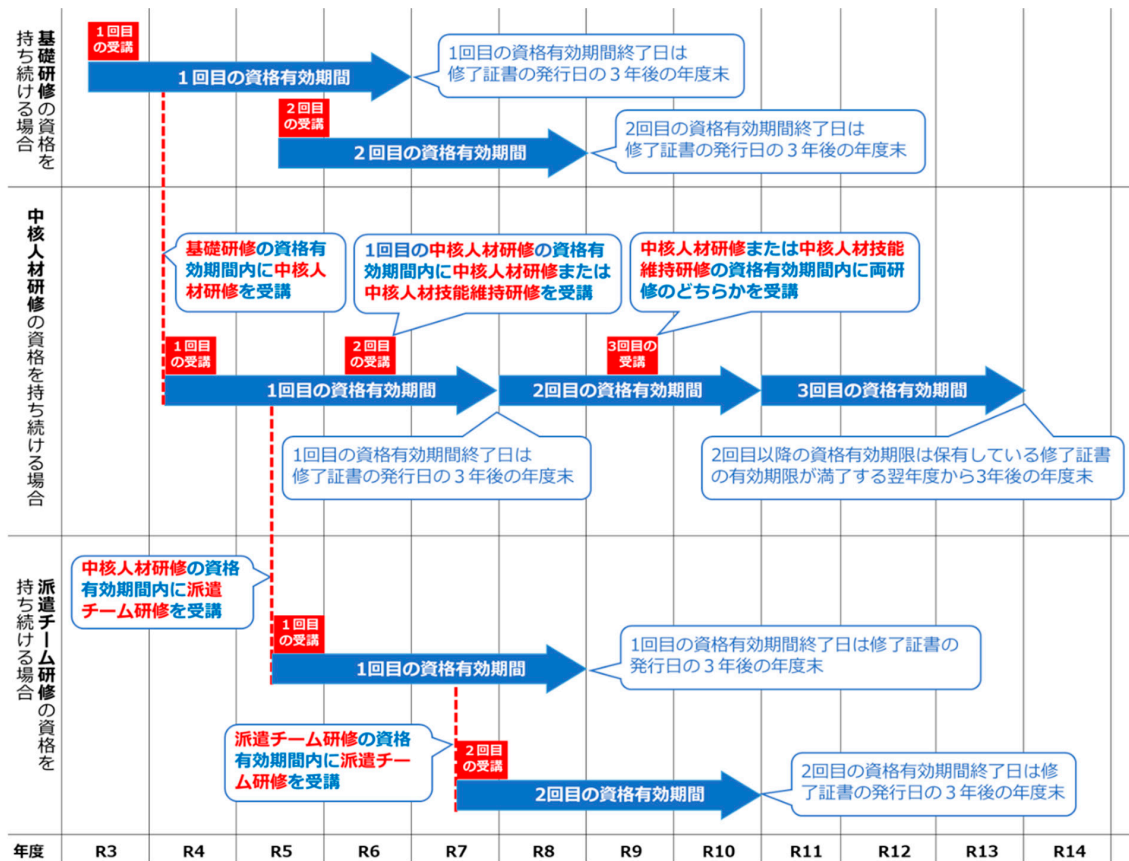


図2. 修了資格更新とステップアップ受講の例

詳細は、量研の「原子力災害医療研修」ホームページをご参照ください。

<https://www.qst.go.jp/site/nirs/rem-training.html>

## 1. 目的

被ばく・汚染のある傷病者を医療機関で対応するために必要となる高度・専門的な知識と技能を再確認およびブラッシュアップし、中心的役割を担える人材を養成する。

## 2. 対象者

原子力災害拠点病院もしくはその候補となる病院及び原子力災害医療協力機関（ただし、「原子力災害医療協力機関に求められる機能（7項目）」のうち、原則として、「A：被ばく傷病者等の初期診療及び救急診療を行えること。」または、「C：「原子力災害医療派遣チーム」を保有し、その派遣体制があること。」に該当する機関に限る）の医師、看護師、診療放射線技師などのうち、令和3年4月以降開催の中核人材研修または原子力災害医療中核人材技能維持研修のいずれかを修了している方、または令和2年度以前の中核人材研修（相当の研修を含む）の修了者で令和3年度～令和5年度の間原子力災害医療基礎研修の受講修了し、特例的に修了資格が延長された方。

### 3. 募集人数及び研修日

募集人数 25名

令和7年2月18日(火)～2月19日(水) 原則1泊2日の宿泊研修

### 4. 実施場所

〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川4丁目9番1号(最寄り駅 JR 稲毛駅)

量子科学技術研究開発機構 研修棟

アクセス <https://www.qst.go.jp/site/about-qst/1315.html> (量研ホームページ)

### 5. 研修内容

別記 時間表(案)のとおり。

到達目標

- ・現場での除染処置がなく、汚染の程度が不明な患者でも受入れる事ができる。
- ・原子力災害拠点病院における医療チームの中心的メンバーとなる事ができる。
- ・被ばく・汚染した患者に関し、自身の病院で何が対応可能か、何を院外に依頼するかを判断できる。

カリキュラムの特徴

- ・複合災害、大規模災害などによる原子力発電所の事故も含め、原子力災害に伴う放射線事故を想定。
- ・想定問題を医療及び線量評価の面からグループ討議する机上演習。
- ・実際の被ばく医療施設を使用しての患者受入れ・除染処置等を含めた実習。

修了認定基準

- (1)すべての講義およびすべての実習と机上演習を受講すること。
- (2)ポストテストの正答率が80%以上であること。これに満たない者には正答とその理由を解説したうえで、再テストを行う。

### 6. 受講料

無料。

本研修は原子力災害時の医療体制整備に資する為、補助金事業の一環として実施され、原子力災害時の医療拠点となる病院の中核人材など養成のための教育研修と位置付けられています。

## 7. 交通費・宿泊費について

量研の旅費規程に従い交通費及び宿泊費を支給いたします。詳細については、受講決定後にお知らせいたします。

## 8. 申込要領

申込期間 令和6年11月1日 ～ 令和7年1月17日（金）

申込方法

- ・被ばく医療研修ポータルサイトより申し込んで下さい。（「入力操作の手引き」参照）
- ・新規アカウント登録（個人情報入力）時に、「原子力災害医療に関する研修受講履歴」があれば忘れずにご記入ください。受講資格の判断材料となります。

ポータルサイト <https://retms.nirs.qst.go.jp/>



研修テキスト

- ・以下の URL からファイル形式を選んでダウンロードできます。

<https://www.qst.go.jp/site/nirs/nuclear-emergency-medicine-text.html>

## 9. 受講決定通知

- ・研修開始日の2週間前までに所属長及び本人宛の結果を文書で通知します。応募者多数の場合には受講者数を調整させて頂く事があります。（先着順ではありません）受講決定通知が届かない場合は問合せ先までご連絡ください。
- ・受講決定者には経費支払に関する情報及び書類、研修日程など受講に必要な諸事項を送付します。
- ・受講決定後でも社会通念上相当とする理由がある場合は研修の取りやめ、受講決定取り消し、受講辞退受付の場合があります。

### 個人情報の取り扱いについて

申込に際してご記入いただきました氏名、住所、口座番号などの個人情報は当機構の個人情報保護規程に基づき厳重に取り扱い、原子力災害対策指針に基づく原子力災害時における医療体制などの整備に向け、本研修の受講記録として管理・保管すること及び、下記の利用目的以外では一切使用いたしません。

- ① 原子力施設立地・隣接道府県、原子力規制庁、高度被ばく医療支援センター及び原子力災害医療・総合支援センターからの受講記録照会のため
- ② 受講者への連絡のため
- ③ 講師への情報提供のため
- ④ 研修終了後のフォローアップのため
- ⑤ その他研修業務の遂行のため

※被ばく医療研修ポータルサイトのサイトポリシーもご参照ください。

### 問合せ先

〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川4丁目9番1号

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

放射線医学研究所 原子力防災推進部 人材育成・研修課

TEL: 043 (206) 3122

E-mail : hibaku-training@qst.go.jp

令和6年度 第2回中核人材技能維持研修 時間表(案)

令和7年2月18日(火)～2月19日(水)

R7年2月18日(火)		内容	場所
12:30 - 13:00	0:30	受付	
13:00 - 13:15	0:15	開講式	
13:15 - 13:20	0:05	追加講義 5分で思い出す被ばく医療	講義室
13:20 - 13:40	0:20	講義1 原子力災害拠点病院・原子力災害医療協力機関の立ち位置と役割	講義室
13:40 - 14:00	0:20	講義2 医療機関での初期対応(医療・放射線管理)	講義室
14:00 - 14:10	0:10	休憩	
14:10 - 14:30	0:20	講義3 放射線障害の診断治療と線量評価	講義室
14:30 - 14:45	0:15	講義4 原子力災害医療の最新動向(指針・ガイドライン等のupdate情報)	講義室
14:45 - 15:00	0:15	休憩・移動	
15:00 - 17:00	2:00	机上演習	講義室
17:00 - 17:05	0:05	休憩	
17:05 - 17:30	0:25	追加講義 甲状腺詳細検査と甲状腺モニター	講義室

R7年2月19日(水)		内容	場所
8:50 - 9:00	0:10	集合・準備	
9:00 - 9:40	0:40	要素実習(放射線測定器取り扱い・傷病者の汚染検査)	REM施設
9:40 - 9:50	0:10	休憩・移動	
9:50 - 10:30	0:40	要素実習 除染	REM施設
10:30 - 10:40	0:10	休憩・移動	
10:40 - 12:40	2:00	総合実習 被ばく・汚染傷病者対応(養生・個人防護装備着脱を含む)	REM施設
12:40 - 12:50	0:10	休憩・移動	
12:50 - 13:20	0:30	ポストテスト・解説 研修全体における質疑応答	講義室
13:20 - 13:30	0:10	閉講式	講義室

令和6年度原子力災害医療中核人材技能維持研修の開催予定

開催機関	開催予定日
量研	2月18日(火)～19日(水) <input type="checkbox"/> 本件
弘前大学	11月開催(申込終了)
福島県立医科大学	今年度は開催済
福井大学	11月開催(申込終了)
広島大学	2月27日(木)～28日(金)
長崎大学	1月31日(金)～2月1日(土)

受講申し込み、詳細情報の確認は、被ばく医療研修ポータルサイトをお願いします。

<https://retms.nirs.qst.go.jp/>

